



うまくいかないもので前から行きたいと思っていた塩原温泉へは忙しくて行かれなかったのに、その数日後からは暇になってしまった。暇にはなったが金がない。ゴールデンウィークも休めそうだけでもひっそりとしていないといけないだろーなー。自転車でどこかへ行ってこようかなどと考えています。

このところ書いておきたいな、か、書かなくてはいけないと思う文章が多かったのでやれる時にいっしょに書こうとも思うけれども、時間のある時には気分がのらないものなのだ。それに、書いてどうなるということもある。

最近、初めてネパールへ行ったときのばらばらになった白黒写真とスケッチの束を見つけてぼつぼつと整理を始めた。そうなると思いたい文章もたくさん出来てきた、一部は書いた。しかし、書いてどうなるのだと思うと筆が止まる。そんなもの結局自分が生きている間しか価値がない。書くこと自体が気持ちがいいだけだなと思うと気楽になった。そんなことより一番いいのは生きている間に沢山の友人達と気持ちの良い時間をいっしょに持てることだ。そのほうがいい。だから徹夜を続けるくらい忙しくても、飲みに来る友人はいつでも歓迎だ。

今月は世界一周中の恵美さんが来てくれた。インドを走っていたが急用が出来て、一人で一時戻ってきた、自転車と大荷物のまま航空会社のカウンターに行き、そのまま飛行機に預けて、成田で、また自転車と荷物の山のまま出てきた。自転車をばらすこともなくお願いしますと預けてしまうその自然体が好きだ。あの小さな身体のどこにそんな自然な力があるのだろうと不思議なものを見つけた好奇心でじっと見てしまいます。互いにそう言う人間だとわかり、認め合い、怒ったり笑ったりしていくことは、お互いの中にずーっと命を分け合って生きていくことで、たとえ何代も後で一人一人の具体的な記憶が出てこなくなっても、文章も絵も何も残ってなくても、まだまだ人の中に生きているのだとそう思っています。人と人とのそういったふれあいと言うことは命の連続性ということの一番大切な部分のひとつであろうと思います。紙に書いたものなど消えてしまうけれども、互いの命の中に刻まれたものは続いていく。そんな時間をもっともっとたくさん持ちたいものです。

それから国技館の前を通ったら5月6日の朝7時から11時まで横綱審議会による稽古総見をやらせて書いてありました。今は入場無料ですから興味のある人はどうぞ。

さて、仕事もやっと一段落して気持ちを新たに今月もやってゆきます。

ノームはひまになりましたが5月31日に東京ビックサイトで行う景観デザインの講座の準備もあり適度にやっております。友人達の来訪はいつでも歓迎します。

<http://www.interq.or.jp/japan/gnomes/gnomes1>

TEL/FAX 03-5600-0195 高村 哲 GnomesJpn@aol.com